



NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.

D-3-5, Megan Avenue 1, No189 Jalan Tun Razak 50400 KL
Tel : 03-2163-6226 Fax : 03-2163-9993 E-mail : sales_my@nna.asia

KDN PP 11802/03/2013 (031453) MCI(P) 035/03/2018 転載契約 : Star Publications/Bernama

「在庫処分」のショーイチ 店舗開業、現地の「当たり」探る

衣料品の「在庫処分サービス」を手掛けるshoichi(ショーイチ、大阪市)は23日、マレーシア・スランゴール州で女性向け衣料品店「カラーズ」を開業した。日本で売れ残った「不良在庫」を持ち込み、新たな市場開拓に挑む。開業時は、オープニングセールとして一律29リンギ(約780円)で販売するが、値付けや品ぞろえはマーケティングを続けながら「現地化」していく。12月には首都クアラルンプール(KL)に姉妹店を出店する計画。



スランゴール州セパンに開業した衣料品店「カラーズ」=23日、スランゴール州(NNA撮影)

カラーズが入居するのは、クアラルンプール国際空港(KLIA)敷地内のアウトレットモール「三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セパン(MO

P K L I Aセパン)」。3カ月間のポップアップショップ(期間限定店)となるが、手応え次第では常設店への移行も視野に入れる。

取りそろえるのは1~2年前に日本で販売されていた衣料品で、女性用のカットソーやワンピース、スカート、カーディガンなどの軽アウターが中心。日本の人気アパレルブランドが学生や20代の消費者向けに6,000円程度で販売していた商品を一括で買い付け、マレーシアに持ち込む。まずは第1段として2万着を出荷しており、最初の2カ月間で1万着を売り切る計画。ショーイチはカンボジアでの店舗運営(2店舗)に加えて、タイやベトナムにも衣料品を卸していることから、残りの1万着はマレーシアを「倉庫」として活用し、東南アジアの各地に仕向ける。

「ふんわり系」に商機

ショーイチの山本昌一社長は、最初の1~2カ月間で

NEWS HEADLINES

【繊維】	進出 「在庫処分」のショーイチ	1
【車両】	文秀ホンダがHVスクーター投入、国内初	3
【金融】	RM=26.8円、\$=4.19RM(23日)	3
【公益】	セルバ、バイオガス発電のGSHに出資	3
【公益】	ス州の水道無料、使用上限を月25立方mに	4
【運輸】	エアアジアX、業績不振で財務悪化の懸念	4
【農水】	三遠南信の農産物売り込み、成果じわり	4
【医薬】	B40向け社会保険、保障対象を36疾病に拡大	5
【医薬】	SOCSO、ペラ州にリハビリセンター建設	5
【IT】	中国IC企業、新工場でシルテラと提携	5
【食品】	BEHO、ドリアン輸出でアリババと覚書	5
【商業】	直販業界、20年に200億リンギ規模に	6
【経済】	10月の消費者物価指数、0.6%上昇	6
【経済】	19年のインフレ率2.7%に上昇、RAM予測	7
【経済】	9月景気動向指数、CIは前月比0.7%低下	7
【社会】	人種差別撤廃条約には批准せず、首相府発表	7
【社会】	「電子たばこ」も規制の対象に、保健省	7
【社会】	「ジョー・ローにだまされた」前首相が発言	8
【社会】	平壤で健康スポーツ展示会、中ロやマレーシア団体も	8

アジア情報

【運輸】	クラブ、電動スクーターのシェア試験導入	8
【経済】	1~9月投資申請は化学が5倍、日本は減少	9
【製造】	来年の履物輸出額は2桁の割合で増加と予想	9
【運輸】	ハノイ市がタクシー管理規則案、車体3色に	10
【観光】	越フーコック島のカジノ、首相が承認	10
【建設】	米ウォーバーグ、印不動産市場に10億ドル	10
【金融】	印のATM、半数が3月までに稼働停止か	11
【社会】	豪人口、2066年に最大4900万人予測=統計局	11

特集

【今週の予定】		12
【書籍ランキング】	11月8日~11月14日	12

マーケット情報、その他

商品市況	13
クロスレート	13
マーケット情報 為替と株式	14
各地のコラム	15

「当たりを探す」と話す。同社は、柔らかい色使いやデザインが特徴の「ふんわり系」の商品から、華やかな「ギャル系」まで幅広い商品を扱うため、売れゆきを見ながら第 2 段として送り込む商品を選定するという。マレーシアで現状、品質がある程度担保され、多数の消費者が手に取れる価格帯の商品はファストファッションが中心のため、「H & M」や「マンゴ」など欧米発のデザインが主流となる。供給源が限られる「ふんわり系」には商機があるとみている。



ベストや「ふんわり系」のスカートなど、消費者になじみの薄い商品はマネキンを活用して着方を紹介する＝23日、スランゴール州（NNA撮影）

販売方法についても現地での最適解を探す。開業からしばらくは一律価格で販売するが、マレーシアでは1つ購入するともう1つが無料になる販売手法「Buy 1 Free 1」なども好まれることから、消費者の反応を見て随時変更していく。展開するアイテムについても、状況を見ながら判断する。山本社長は、カンボジアではトゥクトゥク（オート三輪車）やバイクに乗る女性が多いことからスカートは売れ残ると話す。「地下鉄が発展するとスカートを履く人が増える」（山本社長）ため、公共交通が発達し始めたマレーシアではスカートも豊富にそろえる計画。

マネキンでコーディネートを紹介

カラースは、東南アジア地域でイベント事業などを展

開するジェイノベーション（大阪市）が現地でのコーディネートを担当し、マレーシアで飲食店を展開する日系アプロ・ネクストが運営する。12月1日にはKLのショッピングモール「SOGOクアラルンプール」内に姉妹店を開業する。



ショーイチの山本社長（中央）と、開業に携わったジェイノベーションの宮城社長（左）、アプロ・ネクストの水本尚宏ディレクター＝23日、スランゴール州（NNA撮影）

ジェイノベーションの宮城建司社長は、「日本のアパレルになじみのない消費者に対して、マネキンを活用して着方を紹介していく」と話す。日本の衣料品店で使用されるマネキンは1店舗当たり平均18体だが、MOPK L I Aセパンに入居する衣料品店では8体程度にとどまる。日本ではマネキンに使用した商品から売れていく傾向にあるため、同様の戦略を持ち込んだという。

ショーイチの事業展開（売上高ベース）は日本が95%を占め、残り5%が東南アジアなどの海外。国外に目を向ける同業が少ないことから、山本社長は在庫処分サービスの海外展開を「かなり新しい取り組み」と捉え、今後の伸びに期待を示す。カラースは開業から3日間で1日平均100着以上を売り上げ、上々のスタートを切った。来年は首都圏を中心に、需要が見込めそうな商業施設5～10カ所でポップアップショップを展開し、次の出店先を探す計画だ。（石川真理）

PHOTO NEWS



「テスコ・ロータス」は、プラスチックのレジ袋削減を強化する方針だ＝タイ（NNA撮影）

TAKE OFF

「会場は、です。念のため申し添えます」申し添える、心遣いを感じさせつつも押し付けがましくない。なんと便利で素敵な日本語かと。文面に目を一瞬奪われた。イベント当日に連絡を取った取材先の担当者からのメールだ。

日本を離れたことで東南アジアのビジネス現場を乗り切る英語力は身に付いたものの、美しく使い勝手の良い日本語力には疑問が残る。送信後のメールを読み返すと、同じ言い回しを繰り返していたり、ビジネスライクで冷たい印象になっていたりすることも多々。丁寧かつ簡潔なメールを受信して感心することが増えた。同じことは電話対応にも言えそうだ。

「海外にいると、その時々年齢で吸収すべき日本語が置き去りになる」と、かつて釘を刺されたことを思い出した。母語といえども良いものを取り入れて意識的に使わなければ上達しないのだと実感する出来事だった。（理）

【マレーシア—車両】

文秀ホンダがHVスクーター投入、国内初

ホンダのマレーシアの自動二輪車合併会社である文秀ホンダは22日、高級スクーター「PCX」のハイブリッド車(HV)タイプの国内販売を開始した。HV車の発売は、国内の自動二輪市場では初めてとなる。

「PCXハイブリッド」は、ハイブリッドシステムを採用した世界初の量産型二輪車で、排気量150ccの水冷4気筒エンジンを走行の主力とし、高出力型リチウムイオン電池モーターが補助する「パラレル方式」を採用している。エンジンの始動や発電を担うACGスターターに駆動アシストの機能を追加しており、発進時の滑らかな加速やスロットルの反応が向上した。

販売価格(保険料含まず)は、1万3,499リング(約36万3,200円)で、車体カラーはパールダークナイトブルーを用意した。

安田啓一社長兼最高経営責任者(CEO)は、PCXハイブリッドの革新的な走行性能は、「若年層からベテランの自動二輪愛好家まで幅広く受け入れられると確信している」と話し、拡販に意欲を示した。

PCXの発表式典は、自動車見本市「クアラルンプール国際モーターショー(KLIMS)」の報道陣向けイベントで実施された。KLIMSは23日から、マレーシア国際貿易展示センター(MITEC)で開催されている。

大型2種も同時発売

また文秀ホンダはPCXと同時に、排気量250ccの

大型スクーター「フォルツァ」と、同1,000ccの大型バイク「CBR1000RRファイアブレード」の新モデルも発売した。販売価格は、それぞれ3万999リングと9万1,999リング。車体カラーは、フォルツァがパールホライゾンホワイト、ソードシルバーメタリック、アステロイドブラックメタリックの3色。CBR1000RRは、グランプリレッド、マットパリスティックブラックメタリックの2色をそろえた。



PCXハイブリッドの革新性をアピールした文秀ホンダの安田社長兼CEO(左から5人目)ら関係者=22日、クアラルンプール(NNA撮影)

RM = 26.8円、\$ = 4.19 RM (23日)

為替(11月23日午後5時時点)

1リング = 26.8886円、100円 = 3.7190リング

1米ドル = 4.1975リング、1ユーロ = 4.7726リング(マレーシア中央銀行)

株価(11月23日終値)

クアラルンプール総合指数(KLCI)

= 1,695.88(前営業日比プラス0.26ポイント)(マレーシア証券取引所)

【マレーシア—公益】

セルバ、バイオガス発電のGSHに出資

マレーシアの石油・ガス、電力業界向けのエンジニアリング業者、セルバ・ダイナミック・ホールディングスは22日、バイオガス発電業者、グリーン&スマート・ホールディングス(GSH)の株式10%を1,300万リング(約3億4,900万円)で取得すると発表した。

株式取得により、セルバはGSHが発注する設計・調達・建設・試運転(EPC)案件の優先交渉権を獲得する。セルバは株式取得の目的について、「資産保有モ

デルの拡大とEPC事業の拡大が狙いだ」と説明した。

GSHはこれまでにバイオガスプラント2カ所を完成させており、うちペラ州テルックインタンのバイオガス発電所(出力2.7メガワット)のEPC契約をセルバが受注している。GSHはさらにバイオガス発電所3カ所の建設を進めており、総事業規模は4,900万リングが見込まれる。

【マレーシア—公益】

ス州の水道無料、使用上限を月 25 立方 m に

マレーシアのスランゴール州政府は、貧困層向けの水道水の無料供給について、対象となる 1 世帯当たりの月額使用量を上限 20 立方メートル(約 2 万リットル)から、25 立方メートルに引き上げると発表した。ニュー・ストレーツ・タイムズが 25 日伝えた。

無料で供給されるのは、「貧困世帯データバンク(e-Kasih)」に登録している所得下位 40%(B 40)で、同州政府は従来の無料水道プログラムを見直す考え。スランゴール州政府が現在審議している 2019 年度州予算案

では、経済の強化、州民の支援、州福祉の充実を掲げている。同州は 08 年以降、家庭用水道水は最初の 20 立方メートルまで無料で供給してきた。

アミルディン・シャリ州首相は、今回の上限引き上げで予算を 2,500 万リンギ(約 6 億 7,300 万円)以上上積みし、1 億 520 万リンギとしたことを明らかにした。また、「州の持続的成長に向けた投資で来年度予算案は 3 億 6,000 万リンギの赤字となる」と述べた。

【マレーシア—運輸】

エアアジア X、業績不振で財務悪化の懸念

マレーシアの格安航空会社(LCC)大手エアアジアの長距離部門エアアジアXをめぐり、財務悪化の懸念が浮上している。業績不振でキャッシュ・バランス(現金残高)が急減しているため、金融大手CIMB傘下のCIMBリサーチは増資が必要と指摘している。23 日付スターなどが伝えた。

エアアジアXは原油高で燃料コストが増大していることが大きく響き、2018 年 4～6 月期(第 2 四半期)から 2 期連続で赤字となっている。21 日に発表した 7～9 月期の赤字は 1 億 9,746 万リンギ(約 53 億 4,000 万円)で、赤字幅は前年同期の 4,330 万リンギから大きく膨ら

んだ。

CIMBリサーチによると、エアアジアXのキャッシュ・バランスは 17 年末時点で 4 億 3,300 万リンギだったが、その後に 1 億 3,900 万リンギを債務返済、1 億 6,300 万リンギを設備投資に充てたため、9 カ月間で 39%減の 2 億 6,600 万リンギまで縮小した。今後も燃料費の高騰、リンギ安の影響でエアアジアXの財務が悪化するの避けられないため、同社は「資本増強が不可欠だ」としている。

エアアジアXの株価は 21 日、7～9 月期の業績発表を受けて前日比 4.17%安の 0.23 リンギまで下落した。

【マレーシア—農水】

三遠南信の農産物売り込み、成果じわり



豊橋市特産のミニトマト試食を地元消費者に勧める同市の担当者ら=23日、クアラルンプール(NNA撮影)

愛知県豊橋市と田原市、静岡県浜松市、長野県飯田市の 4 市からなる「三遠南信」地域は、昨年開始したマレーシアへの農産物の売り込みで着実な成果を上げている。

三遠南信の関係者はこのほど、マレーシア・クアラルンプールの高級スーパーマーケット 5 店舗で、昨年に続いて 2 回目となる農産物プロモーションを行った。メル

カト・パピリオン店では 23 日、豊橋市の関係者が同市特産のミニトマトを試食販売し、その甘い味わいをアピールした。

三遠南信のうち田原市、浜松市、豊橋市は農業産出額の全国ランキング上位を占め(2016 年統計でそれぞれ 1 位、7 位、9 位)、隣接する飯田市も市田柿やりんごなどの特産品を持つ。4 市が広域連携することで、農産物の多品目化と通年出荷が可能になる。三遠南信が海外販路の開拓先としてマレーシアを選んだのは、4 市にとって新規市場であることと、日本産の農産物市場が拡大しつつあることが理由にある。

昨年からの売り込みによって販売量は拡大しており、浜松市や豊橋市の特産である次郎柿は、出荷量が 10 倍になった。また、マレーシアのバイヤーからの要望を受けて、さつまいもやラディッシュの出荷が実現。品目数の拡大にもつながっている。

三遠南信は引き続きマレーシア市場への売り込みを強める方針で、来年 1 月後半にもクアラルンプール市内のスーパーでプロモーションを行い、「三遠南信」ブランドの浸透を進める計画だ。また今後は、物流コスト低減でもスケールメリットを生かせないか検討を進めていくという。

【マレーシア—医薬】

B40向け社会保険、保障対象を36疾病に拡大

マレーシアのリム・グアンエン財務相は、所得下位40%の世帯(B40)を対象とした社会健康保険スキームを来年1月より始動する考えを明らかにした。11月初旬に発表した2019年度予算案に盛り込んだ施策を拡大し、保障対象となる疾病を36に増やした。ニュー・ストレーツ・タイムズが24日伝えた。

新たなスキームでは、B40は公的医療機関で日額

50リンギ(約1,350円)を上限に医療サービスが年最大14日間受けられる、あるいは年間医療費で上限700リンギまで受けられることになる。カバー範囲も従来の4大疾病から、36疾病に拡大する。

同スキームはマレーシア中央銀行が管轄し、「来月にも中銀が専用ウェブサイトを開設する予定」(リム財務相)だ。

【マレーシア—医薬】

SOCISO、ペラ州にリハビリセンター建設

マレーシアの社会保障機構(SOCISO)が、ペラ州にリハビリテーションセンターを建設することが明らかになった。病院が併設され、東南アジア地域で最大規模のリハビリセンターになる見通し。25日付ニュー・ストレーツ・タイムズが伝えた。

ペラ州の保健・消費者関連・国家統合・人的資源委員会のA・シバネサン委員長が明らかにした。SOCISOの投資額は5億リンギ(約135億円)で、ペラ州政府が40ヘクタール(40万平方メートル)の土地を提供する。

建設は6カ月以内に開始し、同州からスランゴール州にかけての患者が大半を占めると予想する。

立地は決定していないが、M・クラセガラン人的資源相は都市部での建設を推奨。SOCISOに加入していれば誰でも利用でき、治療費の6割をSOCISOが負担する。同相は「発作で倒れて全身に60%の麻痺が残ったとしても、適切にリハビリを実施すれば30%まで軽減することができる」と話し、リハビリの重要性を説明した。

同センターの開院で500人の新規雇用を見込む。

【マレーシア—IT】

中国IC企業、新工場でシルテラと提携

中国のICメーカー、北京燕東微電子(YDME)はこのほど、マレーシアの政府系半導体メーカーのシルテラ・マレーシアと提携し、北京市に8インチウエハー工場を設置すると発表した。投資額は48億元(約780億円)を見込む。23日付スターが伝えた。

既存工場を改装する形で設置される新工場は面積が7万3,260平方メートルで、2019年1~3月期に稼働を開始する。ウエハーの生産能力は月5万枚。

シルテラはマレーシア政府系投資会社、カザナ・ナショナルが出資する半導体メーカーで、16年からYDMEによる経営指導を受けている。YDMEの新工場向けに81人のエンジニアの研修を終えた段階だ。

シルテラのフィルダウス・アブドゥラ最高経営責任者(CEO)は「新型チップを生産するための知的財産権を移転することになる」と説明した。

【マレーシア—食品】

BEHO、ドリアン輸出でアリババと覚書

マレーシアの食品大手、BEHOグループはこのほど、ドリアンの最高品種とされる「猫山王(ムサンキング)」の中国向け冷凍果肉輸出で中国のインターネット通販最大手、阿里巴巴集団(アリババグループ)と戦略的提携を結んだ。国営ベルナマ通信が伝えた。

ドリアンの輸出は、BEHOグループ傘下のBEHOフレッシュが請け負い、果肉全体の形状で出荷する。アリババ傘下の通販サイト「Tモール(天猫)」などで販売

する。BEHOはアリババグループのほかに、中国の政府系認証・検査機関である中国検認認証集団有限公司(CCCIC)やアリババ傘下の生鮮食品サプライチェーンのパートナー、ウィンチェーンとも覚書を締結した。

CCCICとの提携で、生産から消費までの流通経路(トレーサビリティ)を確保し、国の基準に適合しているかどうかなど、食の安全も保障するとしている。

【マレーシア—商業】

直販業界、20年に200億リング規模に

マレーシアの直販業界は2020年までに200億リング(約5,383億円)に拡大する見通しだ。17年比で54%増の規模となる。国内取引・消費省が試算した。国営ベルナマ通信が伝えた。

同省によると、マレーシアの直販市場は世界でも上位10カ国・地域に入り、「アジアでは中国、韓国、日本に次いで4番目に大きい」という。プレーヤー(事業者)の多様化に応じて、従来のピラミッド型の産業構造を合

理化する考え。

一方で、同省はマレーシア直販協会(MDDA)とも協力し、模倣品など販売管理の強化を念頭に「事業者の倫理に注意を払い、省庁問わず全ての消費者データを閲覧する体制を目指す」としている。MDDAは先日、インドやフィリピン、タイなどの同業と覚書を結び、世界市場での連携でも足並みをそろえていく方針だ。

【マレーシア—経済】

10月の消費者物価指数、0.6%上昇

マレーシア統計局が23日発表した10月の消費者物価指数(CPI、2010年=100)は110.2で、前年同月比で0.6%上昇した。5カ月連続で1%未満となった。

CPIの調査対象12項目のうち5項目で上昇した。インフレ率(物価上昇率)が最も高かったのは「住宅・水道・電気・燃料」(構成比23.8%)で前年同月比2.1%上昇だった。以下、「飲食店・ホテル」(同2.9%)「食品・非アルコール飲料」(29.5%)がともに1.2%、「教育」(1.3%)が1.1%、「交通」(構成比14.6%)が0.8%、それぞれ上昇した。

インフレ率がマイナスとなったのは7項目で、「衣料・靴」(構成比3.2%)が前年同期比マイナス3.1%と最も下げ幅が大きかった。以下、「雑貨・サービス」(同6.7%)がマイナス2.8%、「通信」(4.8%)がマイナス1.5%、「酒類・たばこ」(2.4%)がマイナス0.8%、「家具・住宅設備」(4.1%)がマイナス0.3%、「娯楽・文化」(4.8%)と「保険・医療費」(1.9%)はともにマイナス0.2%だった。

食品は引き続き下落

CPI構成の約3割を占める「食品・非アルコール飲料」の内訳を見ると、10項目中8項目が前年同月に比べて低下した。先月に引き続き、「肉類」と「砂糖・ジャム・ハチミツなど」がともにマイナス2.3%と2%を上回る下げ幅だった。その他、「牛乳・卵」がマイナス1.3%、「野菜」がマイナス1.2%、「コメ、パン、その他穀物」と「果物」「食品加工品」がいずれもマイナス0.5%だった。

一方、「外食」と「魚介類」がそれぞれ2.6%、0.4%上昇した。価格変動の激しい生鮮品などを除いた物価上

昇率を示すコア・インフレーション(季節調整済み)は前年同月比で0.4%上昇だった。

消費者物価指数上昇率(%)

項目	18年10月
食品・非アルコール飲料	1.2
酒類・たばこ	▲0.8
衣料・靴	▲3.1
住宅・水道・電気・燃料	2.1
家具・住宅設備	▲0.3
保健・医療費	▲0.2
交通	0.8
通信	▲1.5
娯楽・文化	▲0.2
教育	1.1
飲食店・ホテル	1.2
雑貨・サービス	▲2.8
全体	0.6

※前年同月比、▲はマイナス

出所：統計局

州・連邦直轄区別の10月の消費者物価指数上昇率(%)

州・連邦直轄区	全体	食品・非アルコール飲料
マレーシア全体	0.6	1.2
クアラルンプール	1.3	4.5
サラワク	0.2	1.0
ヌグリスンピラン	1.1	1.6
スランゴール・プトラジャヤ	0.8	1.4
ジョホール	0.6	1.0
ペナン	0.7	1.2
サバ・ラプアン	0.3	0.5
バハン	0.3	0.9
クランタン	0.2	0.1
トレンガヌ	▲0.2	0.1
ペラ	0.3	0.3
マラッカ	0.1	0.8
クダ・ブルリス	▲0.2	0.1

※前年同月比、▲はマイナス

出所：統計局

【マレーシア—経済】

19年のインフレ率2.7%に上昇、RAM予測

マレーシアの格付け会社RAMレーティング・サービスはこのほど、2019年の消費者物価上昇率(インフレ率)が2.7%に急上昇するとの予測を示した。今年はGST(消費税)の一時的な廃止などで低水準にとどまる見通しだが、来年は売上・サービス税(SST)導入や原油高、燃油補助金の交付対象が限定されることで跳ね上がると分析している。23日付スターなどが伝えた。

今年9月のインフレ率は前年同月比0.3%。通年では6月から9月までGSTが廃止されたことや、食品価格の低迷、燃料補助金の効果で、前年の3.7%を大きく下

回る1%にとどまると予想している。

19年については、GSTに代わってSSTが今年9月に導入され、レギュラーガソリンに相当する「RON95」の燃料補助金の交付対象を絞り込むことや原油高、前年が低水準だった反動で2.7%に拡大するとみている。

RAMは19年について、燃料補助金が4月に新システムに移行し、原油価格が1バレル当たり75米ドルで推移するという前提に基づき、予想インフレ率を割り出した。

【マレーシア—経済】

9月景気動向指数、CIは前月比0.7%低下

マレーシア統計局が22日に発表した9月の景気動向指数は、足元の景気を表す一致指数(CI、2005年=100)が135.7となり、前月比で0.7%低下した。CIを構成する6項目のうち3項目で落ち込んだことが、全体を押し下げた。前年同月比では3.4%上昇した。

景気の向こう4~6カ月の先行きを表す先行指数(LI)は117.9で、前月から0.8%低下した。LIを構成する7項目のうち新築住宅認可数(0.3%減)、半導体の実質輸入(0.4%減)、その他の貴金属・非鉄輸入(0.4%

減)の3項目が低下した。実質貨幣供給量は横ばいだった。一方、新規企業登録数、製造業売上高予測、マレーシア証券取引所(ブルサ・マレーシア)産業指数はそれぞれ0.1%増にとどまった。

業況判断指数(DI)は、CIが83.3%、LIは57.1%となった。LIは、景況の「良い」「悪い」の分かれ目となる50%を今年1月以来初めて上回った。マレーシア統計局は、2019年1~3月の国内経済は緩やかに成長すると見通している。

【マレーシア—社会】

人種差別撤廃条約には批准せず、首相府発表

マレーシア首相府は23日、「国際連合の人種差別撤廃条約(ICERD)に批准しない」との声明を発表した。スター(電子版)が同日伝えた。

首相府は声明で、「マレーシア建国時に全民族間が合意した連邦憲法を守り続ける」と述べた。

人種差別撤廃条約の批准を巡っては、野党の統一マレー国民組織(UMNO)や全マレーシア・イスラム党

(PAS)が反対デモを計画するなど、マレー系や先住民(ブミプトラ)の国民が享受している既得権益が侵されかねないとの危機感から反発が広がっていた。

マハティール首相は先に、「条約批准には憲法改正が必要になる。そのためには議会で3分の2の多数が必要だ。連邦下院の構成と与野党双方の反応からみて、憲法改正はほぼ不可能だ」との見方を示していた。

【マレーシア—社会】

「電子たばこ」も規制の対象に、保健省

マレーシア保健省のリー・ブンチ副大臣は、「電子たばこ」の規制法案の起草作業に当たっていることを明かした。現在、電子たばこを取り締まる規制はなく、将来的に「禁止する」方向性だという。ニュー・ストレーツ・タイムズが24日伝えた。

リー事務次官は、「電子たばこが禁煙につながる証拠はない」と述べ、受動喫煙も含め健康被害を及ぼすとの認識だ。保健省は先月、来年1月より全国の飲食店での喫煙を禁止すると発表した。道端の屋台やカフェも対象となる。

違反した場合は、喫煙者に罰金1万リンギ(約27万円)が科されるほか、飲食店の経営者も2,500リンギの支払いが求められる。

マレーシア・シンガポール・コーヒーショップ経営者協会(MSCSPGA)やマレーシア・ムスリム・レストラン経営者協会などは法規制に反対しており、MSCSPGAのホー・スモン会長は、「喫煙習慣を止めさせるには他の手段を取るべきだ。顧客の4割は喫煙者という飲食店ビジネスには実践的でない」と主張した。

【マレーシア—社会】

「ジョー・ローにだまされた」前首相が発言

マレーシアのナジブ前首相は 22 日、マレー語紙、シナル・ハリアンとのインタビューに応じ、マレーシア政府系投資会社「1MDB」を巡る汚職事件に関連し、マレーシアは事件の主犯格である実業家、ジョー・ロー容疑者にだまされたとの認識を示した。23 日付スターが伝えた。

ナジブ前首相は「マレーシアはロー容疑者にだまされたのか」との質問に対し、「そう思う。我々が現時点で知っていることを考慮すれば、そういう結論になる」と述べた。

ナジブ前首相は「ロー容疑者はマレーシアが中東諸国との経済・外交関係を強化する上で役立つ影響力を持つ人物に思えた」と振り返った上で、1MDB 関連の取引にロー容疑者が直接関与した点については否定した。

これに先立ち、ナジブ前首相はロイター通信のインタビューで、「自分はロー容疑者の指示は受けていない。ロー容疑者が 1MDB を支援しようと自発的に行ったことであり、最終的には 1MDB の経営陣と取締役会が決定を下した」と述べている。

ナジブ前首相はまた、投資銀行ゴールドマン・サックスや弁護士、会計監査担当者が 1MDB に関する国益保護を怠ったとも批判した。

ゴールドマン・サックスの行員、ティム・ライスナー、ロジャー・ウン両容疑者は今月初め、ロー容疑者と共に米国で起訴されている。起訴事実は 1MDB の資金の不正流用やマレーシアとアラブ首長国連邦(UAE) アブダビの官僚への贈賄などだ。

【マレーシア—社会】

平壤で健康スポーツ展示会、中ロやマレーシア団体も

【平壤、北京共同】北朝鮮・平壤の大型学習施設、科学技術殿堂で 22 日、「平壤国際健康・スポーツ科学技術展示会」が開幕した。中国やロシア、マレーシアなど世界各地から 100 以上の団体が参加。健康食品や医薬品、医療機器、スポーツウエアなどが出品されている。26 日までの予定。

保健省や体育省が主催し、開幕式には北朝鮮政府高官

のほか、平壤駐在の外交官らが出席した。国連制裁下でも友好国との関係強化や交流が進んでいることをアピールする狙いもありそうだ。

科学技術殿堂幹部の金英明氏(45)は「各国間の友好を深め、健康やスポーツ科学技術を発展させるための成果や経験を共有する上で良いきっかけとなる」と語った。

アジア情報

【シンガポール—運輸】

Grab、電動スクーターのシェア試験導入



GrabとNUSは電動キックスケーターのシェアサービスを試験導入した(Grab提供)

シンガポールの配車サービス大手Grabは 23 日、イノベーション(技術革新)を推進する新部門Grab・ベンチャーズがシンガポール国立大学(NUS)と共同で、NUS 構内で電動キックスケーターのシェアサービ

スを試験導入したと発表した。

NUSのケントリッジ・キャンパスで 19 日から 3 月にわたり、NUSの学生や教職員向けにシェアサービスを試験的に提供する。構内 8 カ所の駐輪場に電動キックスケーターを配置。年内に 30 カ所に増やす予定だ。

これに合わせて、Grabはシェアサービス用の新アプリ「Grabウィールズ」の試験運用も始める。利用者は、Grabウィールズを使って電動キックスケーターを解錠。目的地に近づくと、最寄りの駐輪場に止めるようアプリから指示が出る。駐輪場に掲示された専用のQRコードをアプリで読み取ると、施錠・返却ができる。使用後の電動キックスケーターはGrabの担当者が毎晩、回収および充電を行い、翌日には元の駐輪場に戻す。

試験期間中の料金は 30 分当たり 0.2 S ドル(約 17 円)と割安に設定されており、追加料金なしで保険も適用される。支払いはGrabのモバイル決済システム「GrabPay」を使って行う。

GrabとNUSは、走行ルートや時間帯など電動キックスケーターの利用状況も調査する計画だ。

【タイ—経済】

1～9月投資申請は化学が5倍、日本は減少

タイ投資委員会（BOI）がまとめた2018年1～9月の投資統計で、新規申請は前年同期比0.8%増の3,771億パーツ（約1兆2,930億円）だった。件数が10.2%増の1,125件と伸びた一方、投資申請額は「化学・プラスチック・紙」が5.3倍となったほかは伸び悩んだ。日本の直接投資額もほぼ半減した。

タイの業種別の投資動向
(2018年1～9月)

順位	業種	金額 (10億 パーツ)	金額 増減 (%)	件数	件数 増減 (%)
新規申請					
1	化学・プラスチック・紙	181.88	431.5	88	14.3
2	サービス・インフラ	91.14	▲56.3	468	13.0
3	金属・機械・輸送機器	47.76	0.6	189	27.7
4	農業・農産物加工	24.09	▲36.9	121	12.0
5	電気・電子	20.51	▲36.8	192	▲7.2
6	鉱物・セラミック・基礎金属	6.97	34.2	32	3.2
7	軽工業	4.59	▲11.9	33	▲2.9
8	技術・イノベーション開発	0.12	▲95.3	2	0.0
	合計	377.05	0.8	1,125	10.2
新規認可					
1	化学・プラスチック・紙	212.84	486.2	111	30.6
2	サービス・インフラ	115.24	▲70.1	464	29.6
3	金属・機械・輸送機器	65.85	▲0.5	201	57.0
4	電気・電子	35.48	19.3	163	▲30.9
5	農業・農産物加工	27.98	3.3	112	▲4.3
6	軽工業	5.94	▲69.1	44	46.7
7	鉱物・セラミック・基礎金属	3.18	▲19.3	23	▲25.8
8	技術・イノベーション開発	0.00	▲100.0	0	▲100.0
	合計	466.51	▲18.2	1,118	13.4

※増減は前年同期比、▲はマイナス、8業種の金額は四捨五入調整済み
出所：BOI

新規申請額を業種別でみると、8業種中増加は3業種にとどまった。「化学・プラスチック・紙」が5.3倍の1,819億パーツで、全体の48%を占めた。「鉱物・セラミック・基礎金属」も34.2%増と伸びが大きかった。ただ「サービス・インフラ」は56.3%減少。「農業・農産物加工」「電気・電子」も落ち込んだ。一方、件数ベースでは8業種中5業種が増加しており、中・小規模事業が多かったとみられる。

新規認可額は18.2%減の4,665億パーツ。8業種中5業種が縮小した。「サービス・インフラ」が70.1%減と落ち込みが大きかった。トップの「化学・プラスチック

ク・紙」は5.9倍、4位の「電気・電子」は19.3%増加した。件数ベースでは、「金属・機械・輸送機器」が57.0%増と伸ばした。

FDI申請は22%減

1～9月の新規申請のうち、海外からの直接投資（FDI、外資比率10%以上の案件を計上）は21.7%減の1,350億パーツだった。国・地域別では日本が45.1%減ながら389億パーツで1位だった。全体の29%を占めた。中国が96.4%増の228億パーツで2位だった。上位5カ国・地域では、中国のほかマレーシア、香港がプラスだった。件数ベースでは、上位5カ国・地域がそろってプラスとなった。

新規認可額は6.3%増の2,059億パーツ。申請と同様に日本が12.5%減ながら745億パーツでトップだった。2位以下は、シンガポールが4.4倍、マレーシアが6.0倍、中国が2.3倍と急伸した。件数では、日本を含む上位5カ国がプラスだった。

タイへの国・地域別FDI
(2018年1～9月)

順位	国・地域	金額 (10億 パーツ)	金額 増減 (%)	件数	件数 増減 (%)
新規申請					
1	日本	38,887	▲45.1	240	20.6
2	中国	22,750	96.4	85	51.8
3	シンガポール	17,900	▲45.6	80	12.7
4	マレーシア	12,753	143.8	22	69.2
5	香港	8,950	61.3	35	25.0
-	その他	33,761	▲27.0	260	0.0
	合計	135,001	▲21.7	722	15.2
新規認可					
1	日本	74,546	▲12.5	251	26.1
2	シンガポール	28,311	337.3	88	60.0
3	マレーシア	23,674	502.5	24	84.6
4	中国	20,570	125.4	72	33.3
5	オランダ	19,232	7.7	25	0.0
-	その他	39,603	▲44.3	251	9.1
	合計	205,936	6.3	711	23.4

※外資の出資比率10%以上、増減は前年同期比、▲はマイナス

出所：BOI

【インドネシア—製造】

来年の履物輸出額は2桁の割合で増加と予想

インドネシア製靴業協会（Aprisindo）は、来年の履物輸出額が今年に比べ2桁の割合で増えると見ている。中ジャワ州や西ジャワ州で製靴工場の建設が

計画されていることなどから、来年は輸出や生産量が増加する見込み。22日付ビジネス・インドネシアが伝えた。

Aprisindoのフィルマン常務理事によると、

中国の大手靴メーカー広碩靴業グループが、西ジャワ州マジャレンカに製靴工場を建設する。投資総額は 2 億米ドル(約 230 億円)。このうち第 1 期工事では 4,200 万米ドルを投入、1,500 人の雇用を創出する。米中貿易競争も、中国に代わって米国に履物を輸出する機会が拡大するとして、商機につながると見ている。

フィルマン氏は、今年の輸出額は前年比約 8 % 増になる見込みだと説明。「新しい工場が増えている状況を考

えると、10%増に達する可能性もある」と述べた。

中央統計局によると、今年 1 ~ 10 月の輸出額は前年同期比 5 % 増の 42 億米ドルだった。10 月単月では前年同月比 9 % 増の 4 億 7,000 万米ドル。

昨年の履物輸出量は 5 % 増の 48 億 7,000 万米ドルで、このうち 27% が米国向けだった。2 位以下はベルギー(8%)、日本(7%)、ドイツ(7%)と続いた。

【ベトナム—運輸】

ハノイ市がタクシー管理規則案、車体 3 色に

ハノイ市はこのほど、タクシー事業の管理規則草案を公表した。車体カラーを「緑」「銀」「白」の 3 色に限定する規定や、共通配車アプリの導入などが盛り込まれている。22 日付トイバオキンテー電子版などが報じた。

市運輸局のダオ・ベト・ロン運輸管理部長によると、現在市内で従来型のタクシーが 1 万 9,200 台余り、他省登録のタクシーが 4,000 台近く、配車アプリを利用する車両が 3 万台程度と、計 5 万台余りが運行。都市基本計画の破綻の原因になったり、交通渋滞や環境汚染の原因になったりしているという。

ロン氏は車体カラーの限定については、タクシーと一般車両を区別しやすくし、他省のタクシーとの区別をつけるためと説明している。新たに導入する車両に適用し、2025 年をめどに統一する。また、市内のタクシーに共通する配車アプリも導入する計画だ。

このほか、市域を第 1 地域(各区)と第 2 地域(各郡・町)に分け、原則としてタクシーごとに営業地域をいずれか一方に限る規定も盛り込まれている。ロン氏によれば、白タクや他省タクシーを排除することが目的という。

【ベトナム—観光】

越フーコック島のカジノ、首相が承認

ベトナムのグエン・スアン・フック首相がこのほど、南部キエンザン省フーコック島で計画されているリゾート施設にカジノ事業の追加を承認した。ベトナム人の遊興も認められる方向だ。22 日付 VN エクスプレスなどが報じた。

リゾートは北西岸ガインザウ村などで建設が計画されている。総投資額は 50 兆ドン(21 億 4,500 万米ドル、約 2,440 億円)に引き上げられる。2021 年の完成を目指し、当初の 3 年間は試験的にベトナム人の遊興を認め

る。ベトナム人の遊興許可については、キエンザン省人民委員会も「地域振興、観光振興につながる」として支持していた。

共産党政治局は 16 年にフーコック島と北部クアンニン省バンドン郡に限定してベトナム人のカジノ遊興を試験的に認める方向を打ち出しており、政府も政令で認めている。

【インド—建設】

米ウォーバーグ、印不動産市場に 10 億ドル

米プライベート・エクイティ(P E)企業のウォーバーグ・ピカスは、インドの不動産開発大手ランワル・グループと連携する方向だ。インドで、小売業に主眼を置いた複合施設の整備に共同で 10 億米ドル(約 1,100 億円)を投資する。消息筋の話として、エコノミック・タイムズ(電子版)が 22 日に伝えた。

両社はまず、それぞれ約 2 億 5,000 万米ドルを出資し、共同投資の枠組みを構築する。向こう 5 年間で、投資対象の施設を大都市の 15 ~ 20 カ所に増やすことが目標だ。両社は既存施設や進行中の事業の取得も視野に入

れており、ランワルが過去に整備した西部マハラシュトラ州プネのショッピングモールなども対象に含まれる。投資額は、展開次第で引き上げられる可能性もあるという。

インドの商業用の不動産市場は近年、再び P E 投資家の注目を集めている。ウォーバーグが運用する資産の総額は 450 億米ドル余り。インドでは、ビジネスプロセス管理(B P M)を手掛けるビブテラなどに 50 億米ドル前後を投資している。

【インド—金融】

印のATM、半数が3月までに稼働停止か

インド国内に設置された現金自動預払機(ATM)の半数近くが、早ければ来年3月までに稼働停止に追い込まれる可能性が出てきた。インド準備銀行(中央銀行)などによる規制の強化が影響するもよう。業界団体のATM産業連合会(CATMi)が21日に明らかにした。

準備銀は今年4月、ATMの運用を担う契約業者の自己資本や保安体制に関する基準を公表した。CATMiは、規制強化への対応で、ATM業界は少なくとも350

億ルピー(約560億円)の拠出が必要との見方だ。

CATMiによると、国内には23万8,000台のATMが設置されている。稼働停止を余儀なくされるのは、支店に併設されていない銀行系の10万台と銀行以外の第三者が運営する1万5,000台。大半の設置先は非都市部で、政府が推進する貧困層の金融システムへの取り込みにも打撃となりそうだ。CATMiは銀行業界に対し、資金面での支援を求めている。

【オーストラリア—社会】

豪人口、2066年に最大4900万人予測＝統計局

オーストラリアの人口は2066年までに、現在の2倍に近い4,900万人に達する可能性がある。豪政府統計局(ABS)が新たな人口統計予測を明らかにした。ニューサウスウェールズ州の人口は27年までに900万人を超え、最も人口増加の著しいビクトリア州は同年に800万人に達すると予想されている。23日付地元各紙が報じた。

ABSは、出生率と平均寿命、海外からの移民数を3つのシナリオに分けて予測値を算出。これによると、国内人口は29年から33年の間に3,000万人に到達し、66年までに3,700万～4,900万人に達する見通しという。3つのシナリオのうち、現在のトレンドを基に試算した中間のシナリオでは、メルボルンの人口は66年までに国内で初めて1,000万人を超え、人口数で首位を維持しているシドニーを追い抜くほか、首都圏特別区(ACT)の人口もタスマニア州を上回る58万人に達すると

予想された。

また、出生数の落ち込みと平均寿命の伸びに伴い、全人口に占める高齢者の割合が増える見通しだ。現在、65歳以上が占める割合は全体の15%となっているが、66年には21%に増え、40歳以下の割合が減少する一方で70～74歳の人口が倍増すると予想されている。

連邦政府は現在、年間19万人を上限とする移民の受け入れ数について、約3万人の削減を検討している。タッグ人口問題・都市相はABSの予測を受け、「現在の人口計画の下、インフラ面で人口増加に対応するため、シドニーとメルボルンの人口増加は過去に比べて減速する見通し」と説明。モリソン首相が今後の移民の受け入れ数について、各州・準州政府の意向を反映させる方針を示していることから、シドニーを中心に移民が減少するとの見方を示した。

予 定

26日

日中共同宣言20周年ほか

【国内】

<政治>

・日中共同宣言20周年

<経済>

・経済財政諮問会議、未来投資会議の合同会議(東京都)

<社会>

・2020年東京五輪・パラリンピックに備え、駅の安全性を向上させるため開発された警備ロボット「ペル

セウスポット」の実証実験(～30日、東京都新宿区・西武新宿駅コンコース)

【海外】(現地日程)

・米航空宇宙局(NASA)の無人探査機「インサイト」が火星着陸(着陸は米東部時間26日午後、日本時間27日午前5時ごろの予定)

・アブダビで第1回技能五輪アジア大会(～30日)

情報提供：共同通信



週間スケジュール

【今週の予定】

中銀：10 月の外貨準備高（詳細）の発表

30 日（金）

統計局：10 月の生産者物価指数の発表



書籍ランキング

11月8日～11月14日

<ビジネス書ベスト 10>

1. 『神のマネー戦略』 泉忠司（マネジメント社）
2. 『ビジネスモデル 2.0 図鑑』 近藤哲朗（KADOKAWA）
3. 『ビジネスフレームワーク図鑑 すぐ使える問題解決・アイデア発想ツール 70』 株式会社アンド（翔泳社）
4. 『これから仮想通貨の大躍進が始まる！』 北尾吉孝（SBクリエイティブ）
5. 『【究解】信用リスク管理』 大久保豊著 / 尾藤剛監修（きんざい）
6. 『女性発の働き方改革で男性も変わる、企業も変わる』 小島明子（経営書院）
7. 『お金が欲しい!!! 年収 300 万円だった僕が 1 年で月収 300 万円を稼げるようになったネット術』 パンダ渡辺（あさ出版）
8. 『新事業承継税制の要点を理解する』 玉越賢治（税務研究会出版局）
9. 『2026 年までの経済予測』 渡辺林治（集英社）
10. 『日銀破綻 持つべきはドルと仮想通貨』 藤巻健史（幻冬舎）

<文庫ベスト 10>

1. 『ルージュ 硝子の太陽』 誉田哲也（光文社）
2. 『希望荘』 宮部みゆき（文藝春秋）
3. 『ハーバードの人生が変わる東洋哲学 悩めるエリートを熱狂させた超人気講義』 マイケル・ピュエット（早川書房）
4. 『ジーヴズの事件簿 才智縦横の巻』 P・G・ウッドハウス（文藝春秋）
5. 『わが心のジェニファー』 浅田次郎（小学館）
6. 『ラストライン』 堂場瞬一（文藝春秋）
7. 『プライベートバンカー 完結版 節税攻防都市』 清武英利（講談社）
8. 『コンビニ人間』 村田沙耶香（文藝春秋）
9. 『民主主義』 文部省（KADOKAWA）
10. 『あなたが消えた夜に』 中村文則（毎日新聞社）

情報提供：丸善丸の内本店

(Bloombergより作成)

海外主要市場の商品市況

取引所・時間	銘柄	直近値	前日比	取引所・時間	銘柄	単位	直近値	前日比
LME (23日10時40分)	銅先物	6193.00	-62.00	NYMEX (23日5時40分)	WTI原油先物	バレル	52.61	-2.02
	銅現物	6286.25	17.25		天然ガス先物	MMBTU	4.32	-0.13
	アルミニウム先物	1944.00	-2.50		ガソリン先物	ガロン	144.58	-6.49
	アルミニウム現物	1936.75	-6.25	COMEX (23日5時40分)	灯油先物	ガロン	193.56	-3.46
	すず先物	19075.00	-175.00		金先物	トロイオンス	1222.40	-5.60
	すず現物	19270.00	13.00		銀先物	トロイオンス	14.39	-0.24
	鉛先物	1965.50	-29.00	SICOM(23日18時40分)	ゴムRSS3先物	キログラム	133.00	0.00
	鉛現物	1970.00	-10.50	シカゴ (23日4時40分)	小麦先物	ブッシェル	506.75	-1.75
	ニッケル先物	10760.00	-210.00		大豆先物	ブッシェル	883.00	2.00
	ニッケル現物	10970.00	-115.00		トウモロコシ先物	ブッシェル	372.75	0.50
	亜鉛先物	2561.50	-20.50	ICE(23日5時40分)	砂糖先物	ポンド	12.59	-0.09
	亜鉛現物	2672.00	9.50	日本(23日19時40分)	ナフサ先物	トン	487.75	-13.00
上海 (23日18時40分)	亜鉛先物	21065.00	-30.00	ドバイ(23日14時40分)	ドバイ原油	バレル	60.49	-0.68
	金先物	279.80	0.30	ロンドン(23日10時40分)	北海ブレント	バレル	59.98	-1.88
	鉛先物	18445.00	145.00	SICOM=シンガポール商品取引所				
	銅先物	49590.00	90.00	ICE=インターコンチネンタル取引所 (アメリカ)				
	銅線先物	3853.00	-26.00	※括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間				
	アルミニウム先物	13835.00	55.00	※限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月				

LME=ロンドン金属取引所

NYMEX=ニューヨーク・マーカンタイル取引所

COMEX=ニューヨーク商品取引所

※限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月

※LME、上海の単位：上海・金(グラム)を除き全てトン

※値：SICOM、シカゴは米セント。上海は中国元。それ以外は米ドル

■為替クロスレート 2018/11/23 19:30 JST (日本標準時)

通貨コード	JPY	USD	EUR	GBP	CNY	HKD	TWD	KRW	THB	VND	MMK	MYR	SGD	IDR	PHP	INR	AUD	NZD
日本円		0.0089	0.0078	0.0069	0.0615	0.0694	0.2740	10.0365	0.2929	206.668	14.14123	0.0371	0.0122	128.820	0.4647	0.6265	0.0123	0.0130
米ドル	112.8430		0.8820	0.7804	6.9456	7.8263	30.9220	1132.63	33.0550	23320.0	1597.500	4.1920	1.3745	14536.0	52.4360	70.6650	1.3830	1.4723
ユーロ	128.063	1.1338		0.8849	7.8749	8.8734	35.0594	1284.18	37.4777	26440.2	1811.25	4.7529	1.5584	16480.9	59.4519	80.1200	1.5680	1.6693
英国ポンド	144.689	1.2814	1.1301		8.9004	10.0290	39.6250	1451.41	42.3583	29883.4	2047.12	5.3718	1.7613	18627.2	67.1941	90.5537	1.7722	1.8867
中国人民幣	16.2470	0.1440	0.1270	0.1124		1.1268	4.4520	163.072	4.7591	3357.52	230.002	0.6035	0.1979	2092.84	7.5495	10.1741	0.1991	0.2120
香港ドル	14.4189	0.1278	0.1127	0.0997	0.8875		3.9511	144.722	4.2236	2979.71	204.120	0.5356	0.1756	1857.34	6.7000	9.0292	0.1767	0.1881
台湾ドル	3.6498	0.0323	0.0285	0.0252	0.2246	0.2531		36.6286	1.0690	754.156	51.6622	0.1356	0.0444	470.086	1.6958	2.2853	0.0447	0.0476
韓国ウォン	0.0996	0.0009	0.0008	0.0007	0.0061	0.0069	0.0273		0.0292	20.5892	1.41043	0.0037	0.0012	12.8338	0.0463	0.0624	0.0012	0.0013
タイバーツ	3.4139	0.0303	0.0267	0.0236	0.2101	0.2368	0.9355	34.2650		705.491	48.3285	0.1268	0.0416	439.752	1.5863	2.1378	0.0418	0.0445
ベトナムドン	0.0048	0.0004	0.0004	0.0003	0.0030	0.0034	0.0013	0.049	0.0014		0.06850	0.0002	0.0001	0.6233	0.0022	0.0030	0.0006	0.0001
ミャンマーチャット	0.0707	0.0063	0.0055	0.0049	0.00435	0.00490	0.01936	0.70900	0.02069	14.5978		0.0026	0.0009	9.0992	0.03282	0.04423	0.00087	0.00092
マレーシアリンギ	26.9222	0.2385	0.2104	0.1862	1.6569	1.8670	7.3764	270.188	7.8853	5562.98	381.083		0.3279	3467.56	12.5086	16.8571	0.3299	0.3512
シンガポールドル	82.0995	0.7276	0.6417	0.5678	5.0533	5.6940	22.4974	824.049	24.0493	16966.5	1,162.27	3.0499		10575.71	38.1500	51.4125	1.0062	1.0712
インドネシアルピア	0.0078	0.0007	0.0006	0.0005	0.0048	0.0054	0.0021	0.0779	0.0023	1.6043	0.10990	0.0003	0.0001		0.0036	0.0049	0.0001	0.0001
フィリピンペソ	2.1520	0.0191	0.0168	0.0149	0.1325	0.1493	0.5897	21.6002	0.6304	444.733	30.4657	0.0799	0.0262	277.214		1.3476	0.0264	0.0281
オーストラリアドル	81.5916	0.7231	0.6378	0.5643	5.0222	5.6590	22.3591	818.98	23.9015	16862.3	1155.123	3.0312	0.9939	10510.71	37.9155	51.0966		1.0646
ニュージーランドドル	76.6392	0.6792	0.5991	0.5300	4.7175	5.3157	21.0025	769.293	22.4513	15839.2	1,085.037	2.8472	0.9336	9872.99	35.6150	47.9963	0.9393	

NNAは、メディア事業を通じて、グローバルビジネスにかかわるすべての人と企業に貢献します。

■NNA グループ

https://www.nna.jp/corp_contents/company/office

【東京】株式会社エヌ・エヌ・エー 本社

【北九州】株式会社エヌ・エヌ・エー 北九州事務所

【韓国】NNA JAPAN CO., LTD. SEOUL BUREAU, SEOUL BRANCH

【上海】上海時迅商務諮詢有限公司

【北京】上海時迅商務諮詢有限公司 北京分公司

【広州】上海時迅商務諮詢有限公司 広州分公司

【香港】NNA HONG KONG CO., LTD.

【台湾】香港商亞洲信息网络有限公司台湾分公司

【フィリピン】NNA PHILIPPINES CO., INC.

【タイ】NNA (THAILAND) CO., LTD.

【カンボジア】NNA JAPAN CO., LTD. PHNOM PENH BUREAU

【ベトナム】NNA VIETNAM CO., LTD.

【マレーシア】NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.

【シンガポール】NNA SINGAPORE PTE. LTD.

【インド】NNA SINGAPORE PTE. LTD. (INDIA LIAISON OFFICE)

【インドネシア】PT. NNA INDONESIA

■提携会社

【オーストラリア】NNA AUSTRALIA PTY. LTD.

【英国】Economic Media Bulletin Limited (EMB)

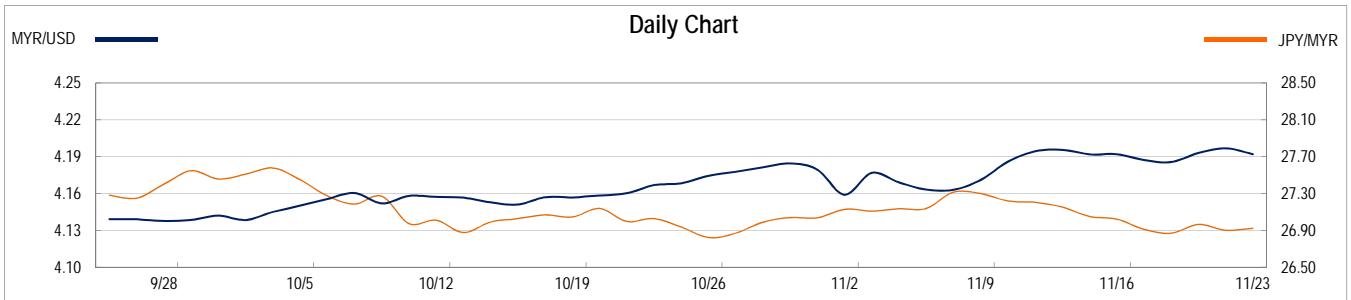


Bloombergより作成の参考値

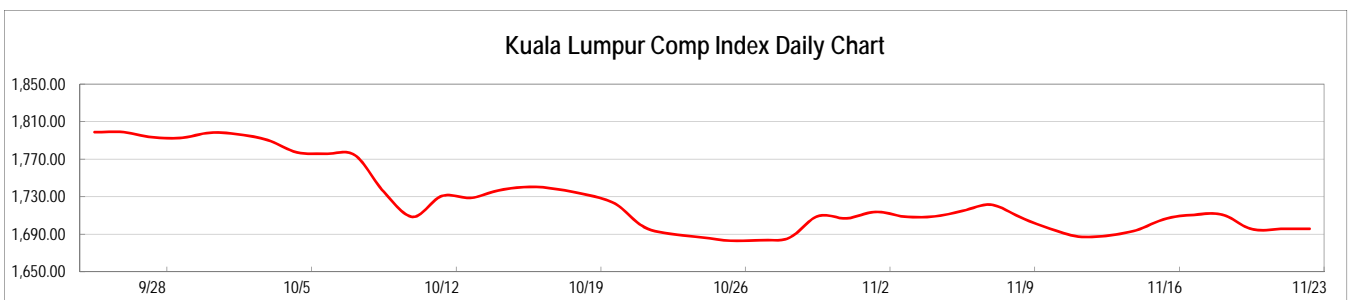
マーケット情報 為替と株式

為替											
地域	現地通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR	地域	通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR
オセアニア	ニュージーランドドル	23日	76.6392	1.4723	1.6736	アジア	ベトナムドン	23日	0.004839	23,320.00	26,508.77
	オーストラリアドル	23日	81.5916	1.3830	1.5721	欧州	ユーロ	23日	128.0630	0.8820	1.0000
アジア	日本円	23日	1.0000	112.843	128.267	北米	英国ポンド	23日	144.6890	0.7804	0.8849
	韓国ウォン	23日	0.09964	1,132.630	1,287.511		スイスフラン	23日	113.3630	0.9974	1.1309
	中国人民元	23日	16.2470	6.9456	7.8953		デンマーククローネ	23日	17.1787	6.5818	7.46183
	香港ドル	23日	14.4189	7.8263	8.8967		ロシアルーブル	23日	1.7070	66.1881	74.9714
	台湾ドル	23日	3.6498	30.9220	35.1465		ハンガリーフォリント	23日	0.39730	284.3550	322.4050
	フィリピンペソ	23日	2.1520	52.4360	59.6041		ポーランドズロチ	23日	29.8341	3.7869	4.2885
	シンガポールドル	23日	82.0995	1.3745	1.5624		チェココルナ	23日	4.9417	22.8780	25.9246
	マレーシアリンギ	23日	26.9222	4.1920	4.7636		スウェーデンクローナ	23日	12.4279	9.0929	10.3068
	タイバーツ	23日	3.4139	33.0550	37.575		米ドル	23日	112.9630	1.0000	1.1338
	インドネシアルピア	23日	0.007763	14,536.00	16,523.73		カナダドル	23日	85.3774	1.3238	1.5009
インドルピー	23日	1.5961	70.6650	80.3632	中南米	メキシコペソ	23日	5.5303	20.3923	23.1620	

オセアニア・アジア：19:30 JST(日本標準時)、欧州・北米・中南米：06:00 JST(日本標準時) 時点



株式													
地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比
オセアニア	ウェリントン	NzSX50	23日	8,701.38	-1.78	276.47	アジア	ジャカルタ	JSX	23日	6,006.20	15.39	-333.04
	シドニー	ASX	23日	5,793.40	23.10	-372.60		マニラ	Composite PSE	23日	7,340.18	71.80	-1,383.95
アジア	東京	日経平均	休場					ホーチミン	ベトナム株価指数	23日	917.97	-6.45	-77.80
		TOPIX	休場					ムンバイ	SENSEX30	休場			
		JASDAQ	休場				欧州	ロンドン	FTSE 100	23日	6,952.86	-7.46	-695.24
	ソウル	総合	23日	2,057.48	-12.47	-422.17	フランクフルト	DAX	23日	11,192.69	54.20	-1,678.70	
		KOSDAQ	23日	683.06	-9.33	-129.39	パリ	CAC40	23日	4,946.95	8.81	-341.65	
	上海	B株	23日	277.16	-6.51	-67.66	アムステルダム	AEX	23日	513.85	-0.25	-30.94	
	深セン	B株	23日	875.86	-15.35	-299.13	ミラノ	FTSEMIB	23日	18,714.90	111.86	-3,130.26	
	香港	ハンセン	23日	25,927.68	-91.73	-4,587.63	マドリード	IBEX35	23日	8,916.70	10.50	-1,162.40	
		ハンセンH	23日	10,388.53	-57.90	-1,680.46	ブリュッセル	BEL20	23日	3,441.43	14.54	-538.10	
	台北	加権	23日	9,667.30	-47.41	-1,043.43	チューリヒ	SMI	23日	8,845.90	64.61	-633.02	
シンガポール	ST指数	23日	3,052.49	11.11	-377.81	北米	ニューヨーク	ダウ	23日	24,285.95	-178.74	-538.06	
クアラルンプール	KLSE総合	23日	1,695.88	0.26	-86.82		NASDAQ	23日	6,938.98	-33.27	-67.92		
バンコク	SET	23日	1,622.10	17.70	-156.43	トロント	トロント300	23日	15,010.73	-80.85	-1,299.26		



シンガポール

シンガポールのヘン・スイキャット財務相が、リー・シェンロン首相の後継の最有力候補に浮上した。次期首相が座るポストともされた与党・人民行動党(PAP)の書記長第1補佐に選ばれたのだ。

このところ、5月の内閣改造で通産相に就任したチャン・チュンシン氏の活躍が目立っていたが、オン・イークン教育相を含めた3人の有力候補の中からヘン氏が抜け出した格好。2016年にくも膜下出血で入院したことから、一部で健康不安もささやかれていたものの、重要ポストの財務相を務めてきた実績が買われたのだろうか。

1965年の建国後50年余りで首相職に就いたのは、現職のリー氏を含めてわずか3人。初代首相の故リー・クアンユー氏を父に持つ同氏の子息は政界入りしていないため、次期首相はポスト「リー王朝」を担う存在となりそうだ。今後のヘン氏の言動が注目される。(喫)

フィリピン

常夏のフィリピンは、クリスマスに向けた準備でにぎわっている。「クリスマスツリーなしでどうやってクリスマスを祝うの?」。映画「ホーム・アローン2」(1992年)で、クリスマス休暇中のフロリダ旅行について、主人公ケビンが語った疑問だ。

ケビンの母親は「(ツリーの)偽物を見つけるか、パームヤシの木を飾るのよ」と返答していたが、NNAのマニラのオフィスでは、観葉植物がツリーに変身した。ウッキウキで飾り付ける同僚たち。イルミネーションが光るヤシの木はまだ目撃していないが、この国のどこかにきっとある。

先週、取材先の幹部に「いやあ、もうクリスマスだね!信じられるかい?」と話しかけられた。「まだだよ!」との叫びをグッと飲み込み、計画を聞いてみたりした。あと1カ月を切り、この国のクリスマスの盛り上がりとは本気度が、恐ろしい。(弘)

タイ

軍政と社会への怒りを歌った「ラップ・アゲンスト・ディクテーターシップ」が、ユーチューブでの公開から1カ月余りで再生回数が4,000万回を超えた。英語や日本語訳が付き世界へ発信している。

「議会が軍人の居間になった国」「誰も政府を批判する勇気を持ってない国」「常識以外のあらゆるものが揃った国」など辛辣(しんらつ)な言葉が並ぶ。週末の散髪時にパンク歌手風の理容師に聞くと賛同していた。

100万件以上の高評価が付く曲に対し、政府側は反撃のアンサーソングとしてラップ「タイランド4.0」を公開。「技術革新で世界の変化と戦おう」と呼び掛けているようだが、低評価が6万4,000件で高評価の4,400件を上回る。

言論を封殺せず音楽には音楽で戦ったとはいえ、曲の質はお世辞にも高評価を押しえない。ただ来る総選挙でも皆が同じ土俵で論戦してほしい。(京)



中国

通勤途中、街路樹の剪定(せんてい)作業に遭遇した。生長の止まる冬を前に枝を詰めるのは理にかなっているのか、この時期には上海のあちこちで見られる風景だ。信号待ちついでに眺めていると、かなり太い枝が目前に落下してきた。驚いた。

こんなにぱっさり切っちゃって、樹勢に影響はないのだろうか。すっかり丸坊主にされてしまい、少々痛々しい。また、簡易な命綱のみで樹に登り、不安定な姿勢でのこぎりを操る作業員も心配である。木の幹はつつつとしていて、滑りやすそうだ。転落すればただでは済むまい。

温暖な上海でも着々と冬支度は進む。すっきりしていく樹木とは対照的に道行く人は厚着をするようになった。数年暮らした北京から上海に越してきたばかりだった昨冬は、厳寒に耐えた自負から薄着でやせ我慢をしたものだが、今年は早めにコートを出そうと思っている。(反)

香港

駅前に漂う甘い香り。秋になると香港の駅前や繁華街の一角には、焼き栗の屋台が始まる。大きな鉄鍋の中で黒い小石と一緒に大粒で艶のある栗を豪快にかき混ぜるのを見ていると、つい買ってしまう。芋はどうだと聞かれ指差す先を見ると、2つに割った中から濃い黄金色の断面をのぞかせる丸々した焼き芋。焼き栗も焼き芋も量り売り。一番小さい芋を指差したが一番大きいのを包んでくれた。

秋の味覚は中華デザート糖水店にも出始めていた。すりつぶした栗のスープに砕いた栗の粒がたっぷり入った栗三昧の汁粉は、この時期だけのご馳走。優しい甘さに体が温まる。

栗や芋など秋の作物は、身体を温める作用のある食べ物とされている。寒くなり始めて体調のバランスを崩しやすい時期に積極的に取るといいらしい。ただカロリーは高いので食べすぎには要注意だ。(保)

オーストラリア

シドニーを先週、砂じん嵐が襲った。ただ、メディアで流れてくる映像は、シドニーがこの世の終わりに至ったかと思うような様子だったが、オフィスにずっと居たせいかあまり実感がわかなかった。外に出ても、シドニー中央商業地区(CBD)では、ビルの間を時折強風が吹く程度で、砂じんも感じなかった。

ところが、帰宅すると浴槽が赤いチリだらけ。同居人が何かしたのかと思ったが、聞けば砂じんが家の中に入ってきた証拠だという。よく見れば洗面台もチリだらけで、窓が開いていた部屋も同じような状況だった。

それだけ家の中に入っていたということは、自宅にいる間にチリを吸ってしまったのかもしれない。気象庁によれば、砂じんの影響は2~3日後に出てきて、そのころにようやく体調不良を自覚するという。砂じん嵐をなめ過ぎたかかもしれない。(頼徳)

2019年アジア駐在員景況感調査

アジアの駐在員を対象に景況感調査アンケート調査を実施
アンケートにご協力ください

アンケート実施中

調査期間

12月9日(日)まで

ギフト券1,000円分を
20名様にプレゼント!